

第59回 FM八女番組審議委員会 議事録

- 1 開催日 令和4年 2月24日 (木)
書面開催とした為、レポート提出期限日を上記日程とした。
- 2 出席者 レポート提出委員 6名 青木歳男 川口良和 吉武信博
野口紘平 古庄浩平 酒井裕樹

委員総数 7名
- 3 議題 「がまだすワイド801 年納め生放送スペシャル」
12月28日 (火) 12:30~15:00 放送分
- 4 議事の概要 放送事業者が事前にCDに収録し、資料とともに各委員へ届けていた。
上記の番組について、モニター後の感想をレポートで提出いただいた。
※新型コロナウイルス感染拡大防止の為、書面にて実施。
- 5 番組内容 地域密着型情報番組
- 6 審議内容
 - ・マラソン企画は走者が走り出すまでの時間が長い気がしたが面白い企画だった。中継が繋がらないというアクシデントもスタジオの二人が上手く繋いでいて良かった。沿道の応援など、リスナーとの繋がりも感じた。しかし、中継の回数が少なく、マラソンに対するリスナーからの投稿を紹介する回数も少ないように感じたのでライブ感があまりなかった。スタジオとの掛け合いで楽しくお店の紹介もできていたが、マラソンレポートなので風景や現在の体力などできる限り臨場感のあるレポートをしてもいいのではと思った。
 - ・紅と白の歌合戦では八女にゆかりのある歌手の方などが出演され、現在の活動や思い、それぞれの楽曲を聴くことができた。男女のバランスが良く、コメントから一年の想いがわかり、良い企画だと思ったが、自己紹介が事前収録だったためか、機械的な印象も受けた。演奏以外の部分はスタジオとのやり取りがあれば、よりライブ感が出たのではないかなと思う。勝敗がメール数で決まったのか、パーソナリティの独断だったのかがよくわからなかったが、これだけ八女出身や在住のミュージシャンを発見しているのは素晴らしく、ラジオからの発信で応援の輪が広がれば良いと思う。
 - ・八女学院バレー部の紹介は全国大会出場の快挙を伝え、共感できるコミュニティFMにふ

さわしいとても良いコーナーだった。キャプテンのインタビューが急に始まったり、監督のインタビューが長く感じたりもしたが、全国大会出場前の貴重なインタビューだったと思う。八女市内でもスポーツや文化的な大会がたくさんあるため、様々なジャンルで活躍する学生の姿を伝えてほしいと思う。

- ・初詣情報も、意外と知らない神社や初詣イベントなどが紹介され、来年はいつもと違うところに行ってみようと思った。

- ・図書館コーナーでは普段あまり聴く機会がない図書館の取り組みについて知ることができて良かった。しかし、「ブックセカンド事業」など、制度や取り組みが矢継ぎ早に出てきて、情報が上手く整理できなかった。もう少し中身を整理し、対象や内容についてポイントを絞ってほしかった。

- ・私の人生の一曲は紅と白の歌合戦の影響でインパクトが薄れてしまったように感じたが、ラジオならではのコンテンツで良かった。

- ・全体を通して、盛りだくさんの内容で聴きごたえのある放送だった。コーナー繋ぎの部分で躓いたりするところがあったので、今後の課題だと思うが、パーソナリティ二人とも聞き取りやすい声と流暢な語り口で楽しく聴くことができた。レポートの数が少ないと感じたのも、それだけコーナーが目白押しだったからかもしれないが、年末のゆったりした時間なのでフリートークを増やしても良かったのではないかと思った。限られた時間の中で、企画とリスナーからのメッセージを交えながらの放送は大変だったかと思うが、今後も八女ならではの企画に期待したい。

8 審議機関の答申又は意見の概要の公表

公表の方法 自社ホームページへ掲載

9 次回の番組審議委員会

日時 令和4年4月27日（水） 午後4時00分

場所 FM 八女 会議室

社名	一般財団法人 FM八女
----	-------------